



平成 26 年 5 月 12 日

各 位

本社所在地 東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号  
 会 社 名 健康コーポレーション株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 瀬戸 健  
 コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシヤス  
 問合せ先 取 締 役 香西 哲雄  
 電 話 番 号 03-5337-1337  
 U R L <http://www.kenkoucorp.co.jp/>

特別損失の計上及び平成 26 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成26年3月期において、特別損失を計上することになりました。その結果、平成25年11月14日に公表いたしました平成26年3月期通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異  
 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

|                             | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| 前回発表予想 (A)                  | 21,361 | 1,262 | 1,168 | 2,492 | 80 円 77 銭      |
| 実績値 (B)                     | 23,910 | 1,127 | 1,303 | 2,698 | 87 円 44 銭      |
| 増減額 (B) - (A)               | 2,549  | △134  | 135   | 206   |                |
| 増 減 率 (%)                   | 11.9   | △10.7 | 11.6  | 8.3   |                |
| (ご参考)前期実績<br>(平成 25 年 3 月期) | 17,840 | 832   | 941   | 402   | 13 円 03 銭      |

2. 平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値と実績値との差異  
 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

|                             | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前回発表予想 (A)                  | 9,198 | 942  | 884  | 2,283 | 73 円 99 銭      |
| 実績値 (B)                     | 9,129 | 993  | 988  | 1,794 | 58 円 14 銭      |
| 増減額 (B) - (A)               | △68   | 51   | 104  | △488  |                |
| 増 減 率 (%)                   | △0.7  | 5.4  | 11.9 | △21.4 |                |
| (ご参考)前期実績<br>(平成 25 年 3 月期) | 8,768 | 699  | 656  | 491   | 15 円 92 銭      |

### 3. 特別損失の計上

#### (1) 通期（連結）

##### ①固定資産除却損

主に連結子会社が保有する固定資産の処分に伴い、133 百万円を固定資産除却損に計上いたしました。

##### ②貸倒引当金繰入額

非連結子会社に対する債権の回収可能性に疑義が生じたため、貸倒引当金繰入額 148 百万円を計上いたしました。

##### ③減損損失

当社グループの保有するのれんの一部について当初事業計画で想定した収益が見込めなくなったこと及び固定資産について将来的な使用価値がないと判断されたことにより、減損損失 253 百万円を特別損失として計上いたしました。

その他、連結子会社の移転に伴う費用等、204 百万円を特別損失として計上いたしました。

#### (2) 通期（個別）

##### ①貸倒引当金繰入額

3.(1)②と同様に非連結子会社に対する当社保有債権の回収可能性に疑義が生じたため、貸倒引当金繰入額 148 百万円を計上いたしました。

##### ②減損損失

将来的な会計上のリスク回避を目的として健全性の観点から連結子会社の株式評価損 403 百万円及び非連結子会社の株式評価損 17 百万円を計上いたしました。連結子会社の株式評価損 403 百万円につきましては、個別財務諸表上において特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はございません。

### 4. 差異の理由

#### (1) 通期（連結）

平成 26 年 3 月期の当社グループの売上高の差異は、主に平成 26 年 1 月 16 日に新たに株式取得により当社の連結子会社となった株式会社ゲオディノスの売上高が追加されたこと及び、子会社 RIZAP 株式会社の業績が計画を上回る伸長をしたことによるものであります。

#### (2) 通期（個別）

平成 26 年 3 月期の当社の当期純利益の差異は、主に当社子会社株式の減損処理に伴い、特別損失を計上したことによるものであります。

以 上